

## 九州国際大学研究者情報

### 基本情報

所属	法学部 法律学科	氏名	酒井 健太郎 SAKAI Kentaro
職名	教授	E-mail	ke-sakai@law.kiu.ac.jp
		ホームページ	

#### ■ 学歴・取得学位

2010(平成22)年3月	宮崎大学教育文化学部地域文化課程 卒業 学士(教養)
2012(平成24)年3月	九州大学大学院人文科学研究府人文基礎専攻 修士課程修了 修士(文学)
2017(平成29)年9月	九州大学大学院人文科学研究府人文基礎専攻博士後期課程 博士課程単位修得満期退学
2018(平成30)年3月	九州大学大学院人文科学研究府人文基礎専攻博士後期課程 博士(文学)

#### ■ 主な職歴

2018(平成30)年4月	九州大学大学院人文科学研究院 助教(2019年3月まで)
2019(平成31)年4月	環太平洋大学次世代教育学部こども発達学科 講師 (2025年3月まで)
2025(令和7)年4月	九州国際大学法学部法律学科 准教授(2026年3月まで)

### 教育活動

#### ■ 主な担当授業科目

<p>○ 学部：教育原理、教職概論、教育方法論、道德教育指導法、公民科教育法 I、公民科教育法 II、教育実習(高等学校社会)、教育実習(高等学校英語)、教育実習(中学校英語)、教育実習事前事後指導、教職実践演習(中・高)、教育学、アカデミックスキル(思考)、アカデミックスキル(表現)、入門セミナー1、入門セミナー2、キャリア・チュートリアル1</p> <p>○ 大学院：特記事項なし</p>
---

#### ■ 教育上の特記事項

○ 教科書・教材：
-----------

道徳教育学フロンティア研究会 編『続・道徳教育はいかにあるべきか：歴史・理論・実践・展望』ミネルヴァ書房，2022.（分担執筆）

酒井健太郎『教育の思想と原理：古典といっしょに現代の問題を考える』晃洋書房，2024.

道徳教育学フロンティア研究会 編『新・道徳教育はいかにあるべきか：道徳教育学の構築／次期学習指導要領への提言』ミネルヴァ書房，2024.（分担執筆）

○ 教育活動：特記事項なし

○ 免許・資格：特記事項なし

**研 究 活 動**

■ 研究分野

研究分野	教育学、哲学
主な研究テーマ	古代ギリシアにおける教育論・学問論・認識論
キーワード	教養、道徳的発達、方法、認識、偶然（運）

■ 主な著書・論文等

著書

- 酒井健太郎『アリストテレスの知識論：『分析論後書』の統一的解釈の試み』九州大学出版会，2020.
- 道徳教育学フロンティア研究会 編『続・道徳教育はいかにあるべきか：歴史・理論・実践・展望』ミネルヴァ書房，2022.（第9章「友情と道徳的発達：『ニコマコス倫理学』におけるアリストテレスの友愛論を手がかりとして」pp. 141- 155 を担当）
- 酒井健太郎『教育の思想と原理：古典といっしょに現代の問題を考える』晃洋書房，2024.
- 道徳教育学フロンティア研究会 編『新・道徳教育はいかにあるべきか：道徳教育学の構築／次期学習指導要領への提言』ミネルヴァ書房，2024.（第4章「配分的正義とメリトクラシー：アリストテレス倫理学の視点から現代の道徳教育を捉え直す」pp. 60- 74 を担当）

論文

- 酒井健太郎「実践的真理の布置：アリストテレス『ニコマコス倫理学』における」九州大学哲学会『哲学論文集』54, 2018, pp. 19- 37.
- 酒井健太郎「規範事例型の実践的推論について：アリストテレス『ニコマコス倫理学』の行為論」日本倫理学会『倫理学年報』68, 2019, pp. 97- 111.
- 酒井健太郎「論証と原因：アリストテレス『分析論後書』第2巻第11章を手がかりに」日本哲学会『哲学』70, 2019, pp. 205-219.
- 酒井健太郎「「教養」とは何の謂いか：『プロタゴラス』におけるプラトンの教育哲学」西日本哲学会『西日本哲学年報』29, 2021, pp. 1- 19.
- 酒井健太郎「余暇のための公教育：アリストテレス『政治学』における音楽教育論に着目して」九州大学哲学会『哲学論文集』58, 2022, pp. 17- 35.
- SAKAI, Kentaro ‘Aristotle on Recollection in *De Memoria et Reminiscentia*’ *Japan Studies in Classical Antiquity* 5, 2023, pp. 33-

<p>53.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 酒井健太郎「的確な判断力としての「教養」：アリストテレスの教育哲学」西日本哲学会『西日本哲学年報』31, 2023, pp. 1- 18.</li> <li>○ 酒井健太郎「教養教育における古代ギリシア哲学の意義：シールズ『古代哲学入門』における分析的アプローチの検討」『国際哲学研究』12, 2025, pp. 49-58.</li> </ul>
<p>学会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ SAKAI, Kentaro ‘Perceiving the forms and recognizing the universals: Aristotle’s <i>De Anima</i> II 12 and <i>Posterior Analytics</i> II 19’ Setouchi Philosophy Forum Online Workshop: Perception, Impression, and Knowledge in Ancient Philosophy, 2022. (若手研究「『魂について』を核とするアリストテレス認識論の再構成」(研究代表者: 酒井健太郎、課題番号: 21K12837)・基盤研究(B)「倫理的理由の分断と崩壊に関する問題領域を横断した検討による社会的議論の再生」(研究代表者: 神崎宣次、課題番号: 20H01182) (共催) )</li> <li>○ 酒井健太郎「哲学と教育：プラトン『ポリテイア』における洞窟の比喩の解釈をめぐって」教育哲学会, 2023.</li> <li>○ 酒井健太郎「アイステーマとパンタスマ：アリストテレス認識論のギャップを埋める」瀬戸内哲学研究会オンラインワークショップ：古代ギリシアの認識論とその展開, 2024. (「『魂について』を核とするアリストテレス認識論の再構成」(研究代表者: 酒井健太郎、課題番号: 21K12837) 主催)</li> <li>○ 酒井健太郎「ヌース・ポイエーティコスという問題：ブレンターノ解釈の検討を通じて」九州大学哲学会 (「『魂について』を核とするアリストテレス認識論の再構成」(研究代表者: 酒井健太郎、課題番号: 21K12837) の共催) , 2024.</li> <li>○ 酒井健太郎「善のアイデアは倫理学の基礎たりえるか：アリストテレス『ニコマコス倫理学』第1巻第6章における善のアイデア批判再考」書評会：川島彬『〈善〉のアイデアと非命題的なもの—プラトン『国家』篇研究—』, 2025.</li> <li>○ SAKAI, Kentaro ‘To What Extent Did Kuki Shū zō Understand Aristotle?: A Critical Examination of Reference and Interpretation in <i>The Problem of Contingency</i>,’ The 8th Japanese-Chinese Philosophical Forum, 2025.</li> <li>○ SAKAI, Kentaro ‘The Problem of Doxa in Aristotle’s <i>Posterior Analytics</i> I. 33,’ East Asian International Workshop on Ancient Philosophy 2026, 2026.</li> </ul>
<p>その他</p> <p>翻訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ マッティ・ハユリュ『人間〈改良〉の倫理学：合理性と遺伝的難問』（斎藤仲道、脇崇晴 監訳）ナカニシヤ出版, 2020. (第4章「聾者の胚、道徳性、法律」 pp. 64-81 の翻訳を担当)</li> </ul>

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

	特記事項なし
--	--------

■ 主な所属学会

教育哲学会、日本道德教育学会、社会系教科教育学会、日本哲学会、日本倫理学会、日本西洋古典学会、古代哲学会、西日本哲学会、九州大学哲学会

■ 受賞等

2019(平成30)年3月	平成30年度九州大学大学院人文科学研究院人文科学府長賞(大賞)
---------------	---------------------------------

■ 研究助成金による研究

<p>○ 環太平洋大学学内特別研究費(共同研究)「非認知能力をベースとした幼小連携カリキュラム開発—「哲学対話」という手法に着目して」(研究代表者) 2019年4月-2020年3月</p> <p>○ 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(C)(共同研究)「公民教育における寛容性の育成に関する学際的研究」(研究分担者) 課題番号20K02870 2020年4月-2025年3月(2023年4月より参加)</p> <p>○ 日本学術振興会科学研究費助成事業 若手研究(単独研究)「『魂について』を核とするアリストテレス認識論の再構成」(研究代表者) 課題番号21K12837 2021年4月-2025年3月</p> <p>○ 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(C)(共同研究)「Doing Democracyの論理に基づく社会科授業開発」(研究分担者) 課題番号25K06264 2025年4月-2028年3月</p> <p>○ 日本学術振興会科学研究費助成事業 若手研究(単独研究)「アリストテレスの知識論および認識論におけるドクサ概念の布置に関する研究」(研究代表者) 課題番号25K16072 2025年4月-2029年3月</p>
--

社会における活動等

<p>○ 北九州市立八幡西図書館にて哲学カフェ「「徳」ってなんだろう？」の司会・企画(2018年4月)</p> <p>○ 宮崎公立大学の自主講座にて市民講座「「徳」の倫理学と現代の諸問題」の講師(2018年9月)</p> <p>○ 国立教育政策研究所チューニング情報拠点 外部委員(2019年6月～現在に至る)</p> <p>○ 京都市の市民団体GACCOHにて市民講座「やっぱり知りたい!アリストテレス」の講師(2019年9月)</p> <p>○ 吉備創生カレッジにて市民講座「古代ギリシアの教育思想—「専門知」と「教養」に着目して」の講師(2020年8月)</p> <p>○ 環太平洋大学にて教員免許更新講習「「道徳」の哲学的背景」の講師(2021年10月)</p> <p>○ 吉備創生カレッジにて市民講座「教育格差を哲学する—メリトクラシーの根拠と妥当性をめぐって」の講師(2022年1月)</p> <p>○ クラーク記念国際高等学校横浜キャンパス(保育者養成7年カリキュラム)</p>
--

にて出前授業「子どもの歴史、保育の歴史」の講師（オンラインにて実施）  
（2022年9月）

- 古代ギリシア哲学を専門とする立正大学教授田坂さつき氏の依頼により、大学院授業「立正大学大学院文学研究科授業「古代哲学講義2」」のゲスト講師（オンラインにて実施）（2022年11月）
- 福岡県立若松高等学校にて高大連携教育講座として哲学対話（「「苦手」と「嫌い」の違いって何？」「なぜ、特定の人ひいきされるんだろう？」「死んだら天国と地獄のどちらに行くの？」）のチューター（2025年6月）
- 九州国際大学令和7年度第2回オープンキャンパスにてスーパー公務員養成プログラム体験の模擬授業「判断推理はこわくない」の講師（2025年7月）
- 福岡県立若松高等学校にて高大連携教育講座として哲学講義・哲学対話（「すべてのことはあらかじめ決まっているのか？」）の講師およびチューター（2025年7月）
- 近代ドイツ哲学を専門とする岩手大学准教授嶺岸佑亮氏の依頼により、岩手大学にて第6回近代ドイツ哲学研究セミナー「「実践」を重視することの意味：古代ギリシアにおける哲学と教育」の講師（2026年2月）
- 福岡県立若松高等学校にて高大連携教育講座として哲学対話（「陰でコソコソ悪口を言う人がいるのはなぜ？」「人にとっての幸福とは？」「現代人はなぜ対話を避けたがるのか？」）のチューター（2026年2月）

#### 大学運営活動等

- 学生サービス委員（2025年4月～2026年3月）
- 教育情報ネットワーク運営委員（2025年4月～2026年3月）
- FM準備委員（2025年4月～現在に至る）
- 教職課程委員会（2025年4月～現在に至る）
- 教務委員会（2026年4月～現在に至る）